正法眼蔵随闻記

毒

蛇

テ臥

リ是ヲ思

佛像

舎利

ハ

如

来

J

遗

骨

ナ

レ

バ

恭

毅

正 B 法 亦 眼蔵 E 續 随闻記二 高 僧 亿 . ノ す₋ 或 ル 禪師 · ノ 會 侍者 僧 ア IJ 懐弉 像 编 J 佛

学がメ 用テ衆寮等 モ有テ常二焼 金

F ス 佛舎利 トヲ 杏 礼 拝

シ恭敬供養ス有時禪師ノ云汝子ガ崇ムル處ノ佛 像舎利ハ

綾_ ノヽ 汝 . ガ 為_ 不是アラン其僧不」 消 邱云是天魔波 旬ノ

付 巡也早ク是ヲ不」,捨其僧憤然トy出ヅレバ 師僧人後二云懸

テえ パタカマツ 汝ヂ箱ヲ用テ是ヲ見べシ怒ナガラ是ヲ用テ 見レバ 果!

スベシト イへトモスーへ二是ヲ仰ギテ得 悟 スベシト 思 ノヽ ` 還テ

郛 見 也 天魔毒蛇ノ所領ト成 ル国 绿也佛説二 功德 ア ル ベシ

界恭敬 ト 見 タレ ス レバ バ人天 派 滅シ ノ 功 褔 徳ヲ得 分 ٢ 成 ルフ ルフ 悪 生 身 趣ノ業ヲモ ŀ 香シ 終テ三宝 消シ人天 一ノ境

K 轨 J 教二 果 ス ル ヲモ感ズル了ハ實也是ニョリテ佛ノ悟ヲ得 随テ工夫弁道スへキ也其ノ教 ハ 僻ヮ 見也佛子卜云八佛教 順上直 順ズル實 佛 佐_ ノ行 到 夕 ランろ

IJ

ŀ

え

H

ハ即今ノ叢 林ノ宗トスル只管打坐也是ヲ思べシス云戒

五テ昊 行 持斎 ヲ守護スベケレバ 依テ得道スベシト思フモス是レ非也只納僧 トテス是ヲノミ家トノ是ヲ奉公 ノ行

優佛子ノ家風ナレバ 從 ヒユク也是レヲ能事ト云ヘバトテ

ア ナ ガチ冕 **ヲノミ宗トスベシト思フハ非也然バ** トテス破戒

放 逸 ナレトスニ 非ズ名亦 如是執也八邪見也外道也只

佛 家ノ儀式叢林ノ家風ナレバ随 順シユク也是ヲ宋トス

1 二宋土ノ寺院二位 セシ時モ衆僧二見ユベカラズ 實ノ得

道ノ為= 八只坐禅功夫佛祖ノ相傳也是レニ依ツテー門ノ同

学 弉 来 来 = 包 彼 公 五 相 相 ク 问 傳 = 承 守 根 房 ハジ ム J J IJ 戒 根 叢 テ 故用祥僧 ヲ学人ニ 本 林 戒 メニ受戒 学道 戒 经 ヲ ヲ サ j 终 正ノ第子也唐土ノ禅院 テ持斎ヲ 護戒 授 儀 ツ B ク是則今ノ菩 式 ク 誦 八百 ヲモテ先 ŀ セシ 見 丈 ヲ 夕 j バ IJ 清 當 ŀ 教 ス 規 家

ヲ

守

ル

丰

カ

然

1

見

夕

IJ

亦

今

J

傳

テ

捨

シ

メ

夕

IJ

シ

也

薩戒也然ルニ J 12 决 面 授 今ノ = モ 函

戒 え 经 然 リ学人最百丈ノ 日夜 是ヲ誦 セ 3 規 トえ 绳 ヲ守べシ然 IJ 何 ソ昊 其 ヲ誦 儀 式 ヲ 捨 護 戒 シ 坐 ム ル ヤ 師

褝 筝 也晝夜、戒ヲ誦シ專ラ戒ヲ 護 持ス トムフ ハ古人し

行 カ 李二シ 持 夕 レ サ タカフテ祗管打坐ス ル 何 功 徳 カ 来 ラ ザ ル へキ也坐禅ノ時何ノ戒 古人ノ行ジ ヲ ケ ル處 ノ行

履 皆深 ろ ア IJ 私 ノ意楽 ヲ存セズリス衆 從テ古人ノ行

厦_ 任

セテ行ジ ユ クベキ 也

B 亦 ム 人 其 J 家_ 生 レ 其 道 入ラ バ 先 ツ 其 J 家 J 業 ヲ 修

シ 知 へキ也我 カ道_ 非ズ自ガ分! 洮 サ ラ ンフ ヲ 知 IJ 修 ス ル ノヽ 即

排 也 今 出家ノ人 トメ即佛家 入り僧道 入 ラバ 須 ク 其 業 ヲ

習 べ シ 其 儀 ヲ 守 ル ŀ え フ ノヽ 我 轨 ヲ 捨 テ 知 識 J 教_ 随

其 大 意 ノヽ 貪 欲 查也貪欲 些 ラン ŀ 思 ノヽ ` 光 須 離 吾 我也否我 ヲ

籬 ル ` = ノヽ 観 典常是レ 幕 _ J 用 る 也 世人多我 八元来人 能卜

营 レ 思 ハレン 1 思 フ 也 其 ガ 即 3 IJ モ 成 得 ヌ 也 K 我 轨 ヲ次

第二 捨 テ 知 識 J 童 随 イ ユ ケ バ 昇 進 ス ル 也 理 ヲ る 得 夕 ル 椽_

え ŀ モシ カ ア IJ トム <u>へ</u>ト モ 我 ハ 其 J 事 ガ 拾得 ヌ ŀ ム テ 轨 シ 好

= 修 ス ル ノヽ 弥 沈 淪 ス ル 也 褝 僧 J 能 ク 成 ル 幕 J 用 る ノヽ 袛 管

打 坐 ス 丰 也 利 鈍賢愚ヲ 濷 セズ 坐禅 ス レ バ 自 然 = 好 ク ナ

ル

ナ

IJ

師云

想テ

亦 事_ ·臼廣學博覧ハカナフベカラサル丁也一向 思ヒ切テ留ルベシス 付テ用心 敁 實ヲモ習ヒ光達ノ行優 ヲモ尋テー 行 ヲ

專 ハケミテ人師先達氣色スマジキ也或時弉问」師「 玄如 何是

不 財囚果底ノ道理師云不動囚果也云ナニトリカ脱落セン

師 え 歷然一時見也云 如」是ナラバ 果 31 赵 ス ヤ

如」是ナラバ南泉猫兒ヲ截丁大衆己、不」道得即

猫兒 ヲ斬却了又後 趙州脱草鞋戴出シ又一段ノ儀式也

スえ 栈 名南泉ナリ セバ 即道べら道得タリトモ 即斬 却セン道

不口 得ナ IJ トモ即斬 却セン何人力猫兒ヲ争フ何人力 猫兒ヲ救

道ン フ大衆 代テ道ン既 南泉只知,一刀两段,不知,一刀一段, 弉云如何是一刀 道得又請和尚斬猫兒又大衆 代テ

段 師云大衆道不」得良久不對泉道べシ大衆己 道得

此 今 ス ノヽ ጥ J 1 轉 河 ム 斬 テ 語言下 テ猫兒躰佛身卜見 大 猫 地 猫兒ヲ放下セマシ古人云大 ハ 妙 旻 淨 即 明心 佛 法 トモ云ベ J 大 用 或 カラ ノヽ _ 又此 ズス 轉 用現前少不」存,軌則,又云 語 語ヲ闻テ学人モ 即 ナ ろ IJ 逞佛 若 轉 トモスベ

語

邶

ス

カラ

ス

即

頓_ 悟 入スベシスえ 此 斬 猫 即是 佛 行 也喚テ 何 トカ 通べキ喚テ

並 斬 具之 猫 ŀ ク別解脱戒ト如」是道 スベシス云是罪 相 ナリ フカ云ク然也又但如」是科简 ヤス ク 派 相 也何 トメ カ脱落セン云列

直 饒 好 事 ナ IJ 1 モ 不」如」無 弉问云 犯戒 卜言八受戒 以後ノ所

戒 犯 ヲ リ名ハ受 道 カ K 後ノ祈 ス 耒 受 犯ヲ道ベシホ 以 前 ノ派 相 ヲ 受 モ 以以前 犯 戒 所作ノ罪 ト道べキカ 相 餫 ヲバ 答 只派 え 犯 相

派 沂 業 犯 ٢ ヲ 道 犯 テ不」可」道,,犯戒,向云 下名下見工如何答云不¸然彼 J 未受戒 J 者 J 四十八 軽 戒ノ中 未受戒 正法眼蔵随闻記

今受戒セントスル時所造ノ罪ヲ懺悔スル時今ノ戒 望メテ 十 戒 ヲ 授 二犯,軽戒,犯スト云 也以前所 造 派 ヲ 犯 戒 トム 非ス

问云

今受戒 セシ ム ルニ十重四十八軽戒ヲ教へテ讀誦セシムベシト見タリス下文 セン時所」造ノ罪 ヲ懺 悔セン為 未受ノ者ヲソ懺 悔

未 受 戒 ブー 前 = **夕説戒スベカラズ** トム ヘリニ度 j 相 違 如 何

答云 受戒 ト誦戒トハ別也懺悔ノ爲 戒经 ヲ誦ズ ル ノヽ 插 旻

念 经 ナルガ故 未受ノ者戒经ヲ誦セントス彼カ爲 戒经 ヲ

説ンフ不」可」有」谷下文二八利養ノ爲 ノ故ニま 受ノ前 二是

ヲ

説ク

コトヲ

修セン

トス最モ是ヲ教べシ向云受戒ノ時ハ

七遅

慨 恪スベシト見ユ 如何答云實懺悔スベシ受戒ノ 時

不一許了八 且 抑止門 トテ 柳 ル 儀 也 ス 上 ノえハ破 戒 ナリ ŀ モ還

得受セバ清淨ナルベシ慨

悔スレバ

清淨也未受 不同问云

セ 遂 一既二懺 悔ヲ許サバス受戒スベキカ如何答己然也故僧實

正 一自所, 这, ノ義 也 既 = 懺 悔 ヲ許バス是受戒スベシ 逄 派

IJ 1 モ 悔テ受戒セバ可」授祝菩薩八直 饒 自身ハ破戒ノ

派 ヲ受トモ他ノ爲ニ受戒セシムベシ

夜 話 **玄悪ロヲモテ** 僧ヲ呵噴シ毀些スル丁莫 レ悪人不 當 ナ

IJ r え トモ魚,人右,悪毀シル丁莫レ光ヅ 何二 ワ ルシトス トモ 四人己

上 集會シスベケレバ僧ノ躰 テ国ノ重宝ナリ最帰敬スへキ

ラ 者 也若 バ 慈悲心老婆心 八位 持長老 テ能 テモアレ名 教 訓 誘引スへキ也其時直饒可」 ノヽ Þ 匠 知識 テモ アレ不當ナ 打。

ヲ バ 打子可一呵喷 ョバ呵責ストモ毀呰謗言ノ心ョ不」可」 起光

師 天 童 净 和 尚 住 持ノ時僧堂 テ衆僧坐禪ノ時 眠 ヲ

履

ヲ

以テ是ヲ打謗言呵噴セシカドモ僧皆被」

打了

ヲ

- 25 -

老 流 化 竹 衆 ヲ 涕人 篦 儀或 破 ヲ 辞 打擲等ノ事ヲ行ズ是頗ル恐アリ然レドモ代」佛 IJ 通ヲ助 シ ナ IJ 庵 諸 二位上老ヲ扶テ居 ケンガ爲

善じ

讃嘆シキ或時又上堂ノ次デニハ常 云我己 老後ノ今ハ

ルベ・

ケレドモ衆ノ

知

識

トリ各々ノ迷

住持人タリ因」是 或八呵嘖ノ言ヲ出シ

揚

ナレバトテ猥リ二衆ヲ領ジ我物ニ思フテ呵噴スルハ氷也 如」是心ヲ以テコ 兄弟慈悲ヨモテ是ヲ許シ給へト言バ ソ衆ヲモ接シ化ヲモ宣べケレ住持長 衆僧

況 其人 非少人ヲ短ヲ謂 他ノ非ヲ謗シルハ非也能 々用 心ス

ツ 丰 マジキ様二方便り傍りりす言フ様 也他ノ非ヲ見テハルシト思テ慈悲ヲ以テセント思ハヽ腹支 テコシラウベシ

ス レノ會 扮 語云 故鎌倉」右大将始义兵衛佐 出仕ノ時一人ノ不當人在リキ其時大纳言 テ有シ時内谷ノ邊: ヲ、 セテ Ð

ム J 旻 玄 世 ヲ 近 ヲ制スベシ将ノ云六波羅 ヲセラルベシ平家ノ将軍也大纳言 E R 陷 カ メタ ナ レ リシ バ 大 将 也今ノ学人モ其ノ心 ノえ 其 ノ 人₋ 非ズト是レ美言ナリ此心 テ後 アルベシ其人。非人人

呵 ス ルフ莫レ ガ 國

夜

話

え

苗哥

J

中

連

ト云将

軍

アリテ平原君

有テ

秨

ヲ

軓 敵 ヲ平グ平原君賞」数多ノ金 銀等ヲ与へシ カバ 哥

4 連辞少云只将軍ノ道 ナレバ敵 ヲ討能ヲ成ス已而賞ヲ

得 テ 扮 ヲ 取 ント = ハ 非ズ 卜謂 テ 敢亍不」取卜言鲁中 連 廉 直

カ F テ IJ Z 也代 3 J リヲ得ント不」思学人ノ用心モ如」是ナルベシ佛道 ステハ 事 也 俗 插 賢ナルハ我其人トリ其道 ノ能 ヲ成スバ

佛 法 ノ 爲₋ 諸 事ヲ行ノ代ニ所得アラント不」可」思内外ノ 諸 教

皆意所得ナレトノミ進

ムルナリ心

ヲ取法談ノ次 示リ云直饒

也弟 好_ ナ 八只佛道ヲ行ジ佛法ヲ学スベキ也文筆詩歌等其詮

止 ナ メ ル ハ ル 卜言也以人ヲモ言不」 折我ガ解事 現_ ガ好也耳 聴入又様 テ忘ルレバ人モミレテ怒ラザル 道 理 卜思 へトモ我 ガ非ニコリト言テ負テノクモアシバ モ謂ヲホ セズ垂爲」

我

道

理习以亍道 二人解事习言习理习改亍言勝八恶丰也次 我

ーノ 俐 心也

示云 一些電池速也生死事大也暫存命ノ间業ヲ修シ学ヲ

丰 也捨べキ道理左右二及バズ佛法ヲ学シ佛道ヲ 修 ス ルニモ

尚 多 般ヲ兼学スベカラズ況ヤ教家ノ顕密ノ聖 教一向二 タショク

鈍 根 劣器 ノモ J カナウベカラズ況ヤ多事ヲ兼テ心想

丰

也佛祖ノ言語スラ多般

ヲ好ミ学スベカラズ一事専 セン

ヲ 調 へザラン不可ナ IJ

時

悠

愁

夕

ル

氣

可 L

斬名其ノ氣色無ンバ

定

メ

示云昔智覺禅 一国 正直 一賢人 師ト云シ人ノ發 也有 時 國 列 夕 心出家ノ事此師ハ初八官人也 IJ シ 時 官 銭 ヲ 盗 テ

施

行

ス

旁人是ヲ官奏ス 帝 聴テ大二鹭キ恠シ ム 諸 臣皆佐 ム 派 過

己二不」軽死罪 行ナハ ルベシト定 ヘリヌ爰ニ 帝議少云此臣八才

人 也 賢者也今口 《色有八速 ۲ サ ラ 此 派 ヲ 犯 ス暑深 12 有 力名 頸に ヲ 斬

深 ら 有リ不」可」斬較使ヒキサ リテ 欲」斬時少毛愁ノ氣色

尝 シ 返 リテ喜ブ氣色 アリ 自云 今生ノ命ハー 切 衆生 施 ト使

テ 丰 旻 恠 テ ヲ 泛 知 レ IJ 奏闻 リの テ **ス帝云然** 其ノ故 ヲ同師云官ヲ辞ノ命ヲ捨テ施 リ定テ深心 有ラン此 事 有 ルベシト ヲ行ノ衆 兼

感り許り出家セシ 生二 缘 ヲ 结 ピ 生 ヲ 佛 ム 家 仍 延壽ト名ヲ賜テ可」 京テー 向 佛 道 ヲ行 殺ヲ是ヲ留 セント思 ト帝是ヲ ム ル 故

深 也 今ノ ク J 衲子モ是ホトノ心ヨー度發スベキ也命ヲ軽 身 ヲ 佛 制_ 任 セント思 フ る ヲ 發 スベシ名前 3 クシ生ヲ憐 IJ 此 乙

モ 有ラ バ 失 ハジ 卜保 ツベシコ レ 木 トノ 心一度不」發火佛 法 悟 ル 了 ハ

ア ル べ カラズ

夜 話二云 ク 袓 席 二 褝 話 ヲ覺 得 故 實 ノヽ 我 本 知 IJ 思 フ 12 ヲ 次

知 識 J 雪 = 随 テ 改 メ テ 去ク 也假 令佛 r 玄 ノヽ 我 本 知 夕 ル 襮 ノヽ 相 好 光

明 具 足 シ 認 法 利 生 ノ德有シ釈 巡弥陀等ヲ佛 ŀ 知 夕 IJ F モ 知

識 智 惠 名 佛 ヲ 捨 1 也 え 此 ノヽ 粒 蝦 蛡 嫫 上 粒 ヘニ 蚓 ゾ 佛 ٢ え J 椢 ノヽ 好 ` 光 蝦 明 嫫 種 粒 R 蚓 ヲ J 旻 佛 J ヲ 沂 佛 具 1 信 J 德 J E tŁ J

ヲ 求 ル モ 猶 情 見改 タマラザル 也只當時ノ 見 ユ ル 処 ヲ 佛 ŀ 知 ル 也

若 ア **₹**0 ルヘキ也然 近代ノ学者自ラガ 是ノ言二從 カテ 情見本 轨 ヲ 情 改 見ヲ執 メモ テ去 少己見. ケバ 自今フ処 タガフ 時

始

以

来

修

習

セ

ザ

自 ガ 佛トハトコゾ有べケレス我存ズル様。タガへバサハ有マジナント、言テ 情量: 似 ル 事ヤ有ルト迷ヒアリ ク 程_ ヲホ カ 夕 佛 道ノ

昇進無キ也亦身习惜テ百尺ノ竿頭 上テ手足ヲ放テ一歩

進メト言時ハ命有テコソ佛道モ学セメト云テ真實、知識

随 順 セ サ ル 也能 々可」思量

夜 話云 入ハ 世间ノ人モ衆事ヲ兼学ソ何レモ能モセザラン 3 IJ ノヽ K

事ヲ能ソ人前ニソモシツヘキホトニ学スへキ也況ヤ出世ノ佛法ハ無 ル法也故 今モウトシ我が性モ拙ナシ高廣ナ

ル 佛 法 J 事 ヲ 多 般 ヲ兼 レハー事ヲモ成ズベカラズ一事ヲ専 セ

ス ラ本性脉劣ノ根器今生二窮メ難シ努ノ〜学人一事ヲ

二スベシ弉问云名然何事イカナル行力佛法 専ラ好ミ

修八牛師云機二随根

随べシト云へトモ今祖席

相傳少專又

ル 処 八坐禅也此ノ行能衆機ヲ兼上中下根等修シ得べキ法也

我 大 宋 天童先 師ノ會下 ソ此道理 ヲ闻 テ後 晝夜 定 坐

J 極 爇 極寒 八發病。メツベシトテ諸僧暫ク放下シキ我 其

時 自思ハク直饒發病」死ベクトモ猫只是ヲ修ベシ不」病」修

セ スンバ 此身労りモ何ノ用ゾ病 **リ死ナバ本意也大** 宋國 ノ善

識 ノ會 テ修シ死テョキ僧! サバ クラレタラン 光ツ结 缘 也日

本_ テ死ナバ是ホトノ人々二如法佛家ノ儀式 テ沙はスベカラス修

行外未、契光十二死七八 好 结缘卜少生 一ヲ佛家ニ E 受べシ 修

行セズメ身ヲ久ク 持テモ点。盆 也何ノ用ゾ況 ヤ身 ヲ 全 クシ

病 不。作卜思 フ程ニ不」知及後 モ入横死 モ逢ハン時八後悔 如

各、モー向ニ思切テ修」見ヨ十人ハ十人ナガラ可」得道也先師 何 如」是案ジツトケテ思切テ昼夜端坐セシニー切 病 不作, 如今

莫

レ

佛

言

クを

服二糞

常乞食アリ何レノ世

カ

亦 え 人 ノヽ 思 切 テ 命 ヲ モ 捨 テ 身 内 手 足 ヲモ 斬 了 ハ + R セ ラ ル 也

天

· 童 ノ

ス

、メ如」是

然 レ ノヽ 世间 J 事 ヲ 思 ヒ名 利 轨 心ノ爲 モ 如是思 フ 也只 依 来

ル 時二觸物二随テ心器 ヲ調 ル了難キ也学者命ヲ捨 ル ۲ 思テ

暫 ク 推。 靜 メテムベキフヲモ 修スヘキフヲモ 道 理 順 スル

カ 順 ゼ ザ ル カ ト案り道 理二 順 セバ イ ヒモシ行 モスベキ也

亦 云学道ノ人衣粮ヲ煩ス丁莫 掃衣アリ食 レ只佛制ヲ守テ心世事ニ出ス了

此 J 事 盡 ルフ 有ン無常迅速ナルヲ忘レテ徒ラニ 世事 二煩

莫レ 露命ノ暫ク存セ ル间只佛道ヲ思テ余事ヲ 事 H

ヲホキ ス ル ナル礙ナレバ不」可」不」 捨故 7 莫 レ或人向云名 利ノニ 道 ハ 捨」是衣粮ノニ 捨 離シガ タシ 事 ۲ え ハ 4 r 缘 E ナ 行 IJ 道ノ

え トモ行者ノ大事ナリ糞掃衣常乞食是八上根ノ所行又

旻 あ 天 J 風 流 也 神 丹ノ 叢 林_ ノヽ 常住 扮 等ア IJ 战_ 其 労 ナ

シ 我 國 ノ寺院 八常位 物ナシ乞食ノ儀モ即絶タリ 不 傳 F 根 不

堪^かノ 身 如 何ガセン介ラバ予ガ如キハ檀那ノ信施ヲ貪 ラン トス ル

モ 虚 受 J 派 随 来 ル 田 奝 仕 エ ヲ学 ム Ŧ 是称命食也只 夭 運

= 任 セン トスレバ 果 報 又貧道 ナ IJ 飢 寒来ラン時是ヲ愁 トメ

行 道 ヲ碍ツベシ或人諫メテ云汝力行儀太アラジ時機 ヲ

額 ザ ル = 似 夕 IJ F 根 ナ リ末 世也 如」是修行 セバ ス 退 轉 J 凶 缪

靜 沂₋ F 成 ヌベシ彧ハー 助亍衣粮 旁事 檀 那ヲ モ 相 語ラヒ名 ハー 外 護 ヺモ 契テ 闲居

きクリ佛道ヲ行ズベ

シ 旻 即 射 物等习食 非ブ時ノ活計ヲ具ノ修行 スベシ

ソータラ

1 此ノ言ヲ闻ト云へトモま」 信用 如」是ノ用心 如何答云夫衲

實学道 子ノ行優ハ佛祖ノ風流ヲ労スベシ三國殊ナリト云へトモ真 J 者未」有一如」是事一只心习世事一个夕入了莫

一向

= 道ヲ学スベキ也佛言ク衣鉢ノ外ハ寸分モ不」 貯 乞食ノ余 飢夕儿衆生 施入直饒受来ルトモ寸分モ不」可」貯泥ヤ馳支

分

有ン ス トモー 十外典二云朝 闻」道,夕死下王可也直饒 日一時ナリトモ佛教二随べシ万劫千生 飢 线 死寒 回 死 力生シ銭回

カ 死セン皆是如」是丿世缘妄執也今生一度佛制 順テ餓 死

セン是永劫ノ安楽ナルベシ何況未ダー大蔵教ノ中ニモ三國

得命分也依」求不」来不」求非」不」来正任運ト火心ヲヲクフ 来 j 佛 祖有テ一人モ餓死寒死夕ルヲ不」闻世间衣粮ノ資具生

莫 レ 末 法也下根也ト云テ今生 不」發何レノ生 力得道 セン直 饒

卜毛只随分 学道スベキ也外典云西

空

生迎景ノ如二非ス

人ニシ

タガ

ウ

テ在家ノ事

ヲ作

テ

命

イ

丰

テ

能

修

道

センフ

女口

何

施毛牆_ 馬 ヲ 好 ム 非ザレド 者 ノヽ 馬 ヲ E色习好山者八色习好山雅宛绿耳: 好 ム 龍 肝 豹 胎二 邶 ザントモ 味 ヲ 好 洮 ム ザ 者 味 1 ヲ E 好 ム

K

随 分丿 賢 ヲ 用 ル ノミ 也 俗 猶 有 此 儀又 如」是ナルベシ 況 ヤ ス 佛二千

年 J 福分习以亍末法丿我等 施入是 因亍天下丿叢林人天

供 養 ネ 绝 如来神通ノ福德自在ナル 猫馬麦 ラ食り夏

ヲ 過シマシ/~キ末 法 ノ弟子豈是ヲ不」慕ヤ问云破戒 ソ空ク人

夭 J 供養ヲ受ケ無通心」人徒如来ノ福分ヲ費 、サン 3 IJ ノヽ 在家

答云 誰 カ ム シ 破戒 透道 ら ナレ ŀ K 強 テ 道 ら ヲ ヲ コ シ 佛 法

ヲ 行ズ ベキ也何況 ヤ 持戒 破戒 ヲ論 セズ 初心 後心 ヲ ワ カ 夕 ズ 乔

ク 如交 来 J 褔 分 ヲ 与 r 八見夕 IJ 未 破 戒 ナラバ 還 俗ス **き**道

ナ

ラ

バ

修

行セザ

レ

۲

八不」見誰人力

初

メ

3

り道

心アルス

如

是發

- 36 -

r

么

۲

モ

佛 シ 性 難キヲ發シ行ジ難キヲ行ズレバ自然 増進スル也人人皆有」 也 徒_ 卑下スル丁莫レス云文選、云國爲一 人興」先

賢 爲

後愚癡 訓 言っ心 ル ハ 國₋ 賢一人不」出来賢ノ跡廢也是ヲ 思べシ

雜 話ノ次 云世间ノ男女老少多ク雑談ノ次或ハ交會淫色等ノ事

ヲ 談 ズ 是ヲ以テ心ヲ 慰 トシ興言トスル了アリー且心モ遊戯シ後然モ マコト 慰 ム

僧八尤禁断スベキ了也俗猶ヨキ人 實シキ人ノ礼儀ヲ

存ジゲニ1~シキ談ノ時出来ラヌ了也只乱醉放逸ナル時ノ談ナリ

況 ヤ 僧八専ラ 佛道 ヲ思べシ希有異躰 ノ乱僧ノ所言也宋土ノ

建 寺院ナントニハ惣テ 仁寺ノ僧正存生ノ時ハー向 雜 談ヲセザ アカラサ レバ 左右 マニモ如」是ノ言語不」 及バズ我 國モ近ゴ 出

来 滅 後 モ在 世ノ門弟子等少々残留時ハー切二言ザ 以来今出」名人達時々該也存外」次第也聖教 IJ 丰

近ゴ

七八年日

IJ

中 二七展强恶業人人覚悟意利人言説八能障」正道ヲ只打出シッキャゥ

言 フ 語 スラ魚」利言説り障道ノ因縁也況 中如此武言說了 ۲

3] レテ即子心モ起 リツベシ尤モ用心スベキ也ワザトコ ۲ サラ イデカクナン

イ ハジトセズトモアシキフト知ナバ漸々二退活スベキナリ

夜 話云世人多ク善事习成ス時八人 知レント思ヒ悪事ヲ成時ハ人

應ナク密 所」作悪事 ハ罸有ル也已 依テ返りテ自思ハク 知 レジト思フニ依テ此心冥衆ノ心 カナハザルニ依テ祈作ノ善事 感

姜事: ハ 験 ナシ佛法ノ利益ナシナント思へル也是即郛見也尤モ

可。改人王不知時八 啓 善事习成シ悪事习成テ後ハ發露: メ祭

ヲ悔ユ 懺 悔 如」是スレバ即密々二所」成善事二八感應有り露 セラレ テ 派 減スル故 自然現益七有儿也可」知」當果 タル悪事 爱_

有在家人来亍问云近代在家人衆僧ヲ供養シ佛法ヲ帰敬スルニ

答 多 ム ク不吉ノ事因」出来、邪見起リテ帰敬三宝不」帰 思フ 即 衆 僧 佛 法 ノ谷ニ 非ズ 即在家人人自誤 也其 故 ハ假 如 令人 何

目

バ カ IJ 持戒 持斎 ノ由 現ズ ル僧ヲバ貴クシ供養シ破戒無渐 ノ僧 ノ 飲 酒

肉 食等スルヲバ不當也ト思テ不」供養此差別ノ心實二佛意

ケ IJ 困 テ 帰 敬 ノ功モ空ク感應点也戒ノ中 モ処 々二此ノ心ヲ誠 メ 夕 IJ 僧

不」可」定末世ノ比丘聊外相尋常ナル処ト見レドモス是二勝タル悪心 トム ノヽ 、徳ノ有意ヲ不」擇只可」供養也殊二其ノ外 僧 以テ内 徳 ノ有会

モ 悪 事 モアル也仍テ好僧悪僧ヲ差別シ思了趣テ佛弟子ナ

レ バ 此方ヲ貴ヒテ平等ノ心 テ供養帰殺モ セバ 必 **7佛意**:

利 ヲ 可 益モ速疾 アルベキ也又冥機冥応顕機顕応等ノ四句有ル丁 思 ス 現生後報等ノ三時業ノ事モ 有り此等ノ道 理

能 졷 可」學也

夜 話云名人来于用事习云中 或八人 物习乞或八訴訟等人

事 人 也 ヲ 遁 モ 世籠居ノ身ナレバ在家等ノ人 非分ノ事ヲ謂ンハ非 ム ハントテ 通 ノ状 ヲモ 所望 ースル 事出来有ルニ 其 J ナ 時 IJ 我 ノヽ 邶

1 テ 眼前ノ人ノ所望ヲ不゚叶臨」其ノ時 思量スベキ也實 非人ノ

法_ ハ似 タレドモ不」有」然捜、其心中「循我 いが遁 世 非人也非 分 J

玄ハ々人定テ悪ク思ヒテント云フ道理ヲ思テ不」 闻猶是我 轨

Z 闻 也只眼前ノ人ノ爲一分ノ利益ハ可」爲カランヲバ人ノ悪ク思ン

事 ヲ 不 顔可」爲也此事非分也悪ルシトテウトミモシ中ヲ 違

ノヽ ンモ如い 是不覚り知音中違ン何力可」悪顕 八非分丿僻 事ヲス

菩 ルト人 ハ見レドモ内二ハ我執ヲ破テ名闻ヲ捨ツル第一ノ用心也佛 薩 ハ人ノ来テ云時ハ身肉手足ヲモ 斬 ル也況ヤ人来テー通ノ

状ョ乞ン少分ノ悪事ョ名闻バカリ ヲ思テ其事ヲ不」闻ハ我執 我

我 ノ 谷也人トハヒジリナラズ非分ノ要事云人トカナト急」所詮思フトモ ハ 捨」名闻一分ノ人ノ利益トナラバ真實ノ道 可」相應也古人

E 其義アルカト見ル丁多シ予モ其義ヲ思フ少々 檀那 知音人

不」 思懸 リョ人 申傳テト云ョバ纸少分コリ入一分ノ利益ョナス ハヤ

スキ了也弉问云此ノ事實。然ナリ但シ善事。テ人 利益

トノ

r

ラ

ン丁ヲ人 モ云傳ンハサルベシ名 僻事ヲ以テ人ノ所帯ヲ取ン ۲ 思 ヒ或

ハ人ノ爲 悪事ヲ云ヲバ可」云傳乎如何師答云ク理非等ノ事ハ

状_ ガ モ可」載請取テ沙はセン人コ 非」可」知识一通ノ状ヲ乞へバ与レドモ任」 ソ 理 非ヲバ可 理非 可 沙 明ケレ 非,我分上,如 以由云 モ

事 柜」理人、云ン了又非也又現ノ解事ナレトモ 我ヲ大事ニ

モ 思 フ人ノ此ノ人ノ云ン事ハ善悪不」違ト思フ程ノ知音檀那

処へ僻事ヲ以テ不得心ノ所望ヲナサバ其ヲバ今ノ人ノ所望ヲバ

不し

好

事

ヲバ

譲」他一人、悪事ヲバ

()自己

志氣有ルベキ也问

可以云也一切。 往 闻 トモ彼状、モ難」去申セバ申スバカリ也通理二任テ可」有」沙汰 旻 ハ 彼 モ 此 モ遺 恨不」可」有也 如」是事人 對 面 ヲ

執习可」捨也

モシ

出

来儿了二任テ能

々思量スベキ也所詮ハ事

觸テ名闻我

夜 話云 今世出 世间 ノ人多分ハ善事 ・ヲナシテハカマヘテ人「 識

レ ン ۲ 恩ヒ悪事ヲナシテハ人、不」被」知恩フ依」此内外不 相 應ノ事

出 来儿 相 構テ内外相應シ誤リヲ悔ヒ實德ヲ蔵テ外相 ヲ

ム 實德ヲ厳シ外相ヲ莊 ザラン丁實 可」然但佛菩薩 J

大 悲利 生ヲ以テ本トス無智ノ道俗等外相ノ不善ヲ見テ

旻 ヲ 謗 雞 セバ 謗 僧ノ罪 ヲ感 ゼン實德ヲ不」知トモ外

相 ヲ 見テ貴供養セバー分ノ福分タルベシ是等ノ斟酌

理 イ ニタ カナルベキゾ答云外相ヲ不」莊ト云テ即放逸ナラバス是道 ガウ實德ヲカクスト云テ在家等ノ前 悪行 ヲ現

ゼン又是破戒ノ甚シキ也只希有ノ道心者ノ由ヲ人知ラレント

思比在」身失习人不了被」知卜思刁諸天善神及三寶ノ冥

二知見スル処ヲ不」愧人、貴ラレント思フ心ヲ誠ル也只臨」時!

觸」事 爲」真法 爲」利生少諸事ヲ斟酌スベキ也擬ノ

後言思テ後行乂率暴ナルフ勿レト也所詮ハ一切ノ事 臨テ

眼前丿道理也不」可」待:和議经卷教,念々二些」期:明日! 可」案」道理,也念々二不」留日々二遷流!每常迅速ナ ルフ

思、當日當時、許、後日八巷。不定也知り難ケレバ只今日バカ

法 IJ 利生, 拾, 身命, 行, 諸事 去 也问云顺,佛教 追,可, 行, 王身命ノ在ラン程可」思」順,佛道,也順,佛道,者爲,興 ョ モチユク

乞食等, 败如何答云可, 然但是八顺, 土風, 可, 有, 斟酌ナニト! 二少看,佛衣,行步也八可, 穢,亦夕人民貧窮, 少次第乞食毛 E 利生モ廣ク我ガ行モ進ムカタニ可」就也是等ノ作法通

俗不净

不」可」叶行道王可退利益王不」廣歟只守」土風,尋常行」佛

通居タラバ上下丿攀自作`供養 べシ自行化他成就セン如`是丿

八七胎」時觸」事思二量道理一不思之人一目忘」自一益, 佛道利

生ノ方 ヨキ様 可」計

示云学通人就」可」拾」世情,可」有1.重々丿用心1拾」世拾」家拾」身

思,家門親族事,遁,拾家,拾,離親族境界,思,我身苦 拾し 心也能力可」思量也适,世,隐一居山林,不,绝我重代家,有,

苦行スレトモ心不」入,佛道,我心。遠ク事ヲバ佛道ナレドモ不」爲 事,不,爲病 可」發佛道不」行思」未」拾」身也又不」惜」身難行

正法眼蔵随闻記 二

正法眼蔵随闻記二终

思、不、拾、心也